



医療法人 厚生堂

長崎病院

広報誌

2025.1

vol.

138

# むつみ

## 当院の理念

私たちは良質で安心な医療の提供により、患者様や家族の皆様との信頼を築き、常に「思いやりの医療」を念頭に、地域社会に貢献します。

目次

健診における検尿について……………1  
転倒転落防止委員会の活動について……………2・3

お知らせ……………4



新年あけましておめでとうございます。

昨年後半はまるでコロナ禍が終息したように、人流がコロナ前の状況以上に戻っております。With コロナの環境のなかで長崎病院は皆様の健康にお役にたてるよう努力してまいります。



理事長 長崎 孝太郎

## 健診における検尿について

内科医師 長崎 孝平

●検尿は1972年に職域健診、1973年に学校健診で始まり、今では母子保健法、学校保健法や老人保健法などに基づいて生涯にわたって検尿が行われるようになっています。

これは腎疾患の患者数が学齢期から青年期、中年期から高年期の2つのピークを持つこと、糸球体腎炎の多くに治療が確立されたこと、そして一見治癒したようにみえてもくすぶり型の持続や加齢、動脈硬化、メタボリックシンドロームによる腎機能低下があるためです。

また、わが国の透析患者数は34万人以上に達していますが、腎疾患には症状がないものも多く、普段の生活、症状からは受診につながりにくいため、検尿での早期発見が重要です。そして生涯にわたる検尿の成果として、日本の小児末期腎不全患者数は世界で最も少ないといわれており、透析導入の原因では、腎炎などの腎疾患は減っています。反面、透析導入の原因では糖尿病や高血圧など、生活習慣病を原因とするものが増えています。

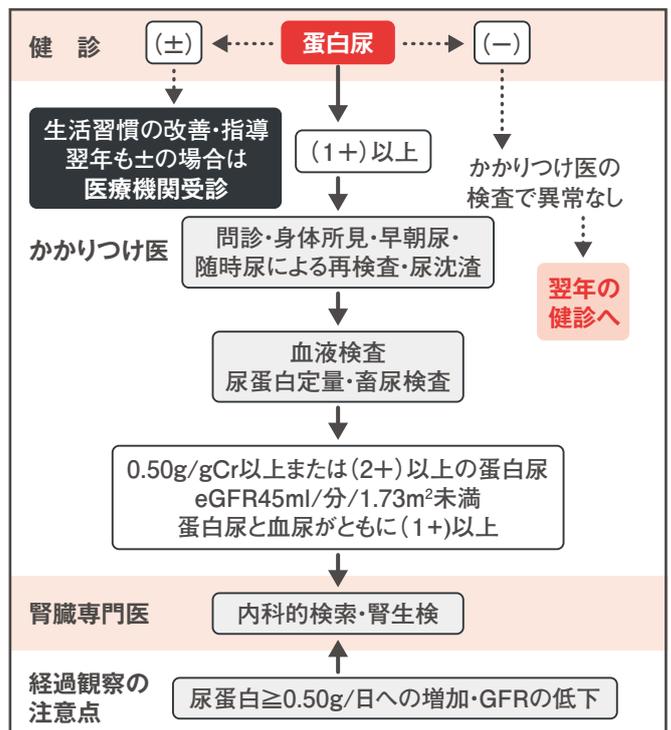
●中年期から高年期において、検尿の有所見率は男性15%、女性25%といわれています。女性が高いのは月経の影響を受けるためで、月経の前3-4日、後5-6日は結果に影響を与える可能性があります。

では検尿異常を指摘された場合どのようにするのがよいでしょうか？

- 1.尿潜血が陽性の場合：内科または泌尿器科を受診し、尿に本当に赤血球がでているか確認します。もし赤血球が確認されなければ、脱水や過度の運動などによる偽陽性や、その他の全身性の疾患の可能性を考えます。赤血球が確認された場合は、腎臓、膀胱、尿道あるいは性器出血の混入など、どこ由来かを調べます。腎臓からの赤血球の場合、蛋白尿など他の尿所見や進行性の腎臓病が疑われる所見がなければ引き続き検診で様子を見ることもあります。
- 2.蛋白尿が陽性であった場合：内科を受診し、尿蛋白の量を確認します。学校健診が始まった頃は、腎炎などの早

期発見、治療が主な目的であり(1+)から医療機関を受診していました。しかし、昨今の透析の主な原因は高血圧や糖尿病など生活習慣病であり、これらの疾患がある場合は尿蛋白(±)であっても保健指導を受け、2年連続で(±)では医療機関を受診するように勧奨されています。

●人生100年時代が近づいていると言われる中、長く元気に過ごしていくためにも検診を大切にして生活習慣を定期的に見直すことが重要です。医療も多様化しており、「受診をする」以外にも健康教室や医療機関での保健指導、栄養指導、イベントでの健康相談など様々な相談場所が増えています。上手に活用して元気に過ごしましょう。



(日腎会誌 2017;59(2):38-42.より引用)